



特集2

ジュエリーのプロを育てる 山梨県立 宝石美術専門学校

山梨県は、宝石や貴金属の研磨・加工から販売まで幅広い知識と技術が集積している日本一のジュエリー産地です。ここ宝石美術専門学校では、ジュエリー産業の現場で活躍するプロフェッショナルを講師として招き、日本一の産地だからこそできる人材育成を行っています。

ジュエリー産業を担う 人材を育てる

本県のジュエリー産業は、甲府盆地北部の山々から採れた水晶玉の研磨に始まり、二、三百年ともいわれる長い年月をかけた育まれてきました。現在は、国内のジュエリーの約3分の1を生産する、本県の代表的な地場産業です。

宝石美術専門学校は、このジュエリー産業を担う人材を育成するため、昭和56年に創設された全国唯一の公



立のジュエリー専門学校です。学校では、デザイン、宝石研磨、貴金属加工などの実技だけでなく、商品企画、プレゼンテーションまで、ジュエリーに関する総合的な知識や技術を身に付けるための教育を行っています。県内ジュエリー業界で活躍しているプロフェッショナルが講師となり学生の指導を行うなど、ジュエリー産地山梨ならではの人材育成をしています。

また、より多くの経験が積めるように、2年間の課程の中で通常の授業以外にも、企業見学、県外研修、スキルアップのための課外授業などの実践的な教育に取り組んでいます。

一方で、県内のジュエリー業界で働いている方々を対象に夜間制の高度技術専門コースを設け、さらなる技術向上に向けた教育を行っています。

宝石美術専門学校は、平成22年秋に甲府市中心部の紅梅地区再開発ビルに移転し、幅広い人材育成を行っています。



Interview
宝石美術専門学校 校長
青島みどりさん
Midori Aoshima

業界を引っ張っていきける ジュエリーのエキスパートの 育成を進めています。

これからの時代は、依頼されたものをつくるだけでなく、自ら提案し、積極的にものづくりをしていく産業人が求められます。つくることの基本をしっかりとし身に付けた上で、マネジメントもできることが大切です。そんな人材を育てるべく、学校では業界との連携も密接に図りながら教育を進めています。

業界と連携した教育はジュエリー産地にあるこの学校の大きな特徴であり、とても恵まれた環境だといえます。業界からは宝石などの実習材料の支援をはじめ、業界のセミナーやフェアにも学生が参加できるように配慮いただいています。それに

何より、ジュエリー業界で活躍されている約40名の方々に講師として指導していただいております。学生にとっては産業の今を知り、産業人になる意識を持ついい機会になっています。

基礎がしっかりしている山梨だからこそ、ジュエリーの新たな取り組みを打ち出していける可能性は十分にあります。産業に従事している方々はもちろん、学生たちにもその意識を共有してほしいですね。また学生には、1、2年先でなく、10年先を見つめて日々取り組んでほしいと思います。この恵まれた環境を大いに活用して、しっかりと基礎を身に付けてほしいです。



Interview
ジュエリー学科1年
照井 現久さん
Genki Terui

恵まれた環境の中で 幅広い勉強ができ、 夢が広がりました。

ジュエリー産業で働くことを目指し、地元秋田県の短大で彫金を学び、次の段階として、宝石美術専門学校へ進学しました。ジュエリー産地山梨にあるこの学校なら、業界の現場にも触れながらさらに実践的な勉強ができると思ったからです。

生も多く、業界の現実を知ることができたり、材料の宝石が驚くほど豊富に揃っていたりと、とても恵まれた環境です。また学園祭では、自分の作品としてだけでなく、人に見せるためのものづくりを企画から完成まで一貫して学ぶことができ、とてもいい経験ができました。

在学生インタビュー

宝石美術専門学校では、夢や希望をもった学生たちが日々、学んでいます。

基本を学び、 実践も経験できる授業は、 刺激がいっぱい。



Interview
ジュエリー学科1年
長坂 瞳さん
Hitomi Nagasaka

企画から販売まで手掛けられるようなジュエリーデザイナーになるのが幼い頃からの夢でした。

入学するまではジュエリーの加工をしたことがなかったのですが、どの授業も基本からしっかりと教えてもらうことができ、戸惑うことなく学べています。自分の手でもものづくり出す作業はとてもおもしろく、さらにジュエリーの魅力にはまっています。またデザインの授業では、できあがった作品だけで

なく、その途中の段階でもみんなで見せ合ったりする機会が多く、自分にはない発想に驚いたり、新たなアイデアをもらったりと、多くの刺激を受けています。

将来はジュエリーデザイナーとして独立することを目標に、10年ぐらい企業で経験を重ねたいと考えています。山梨は働きながらも多くを学べるいい環境が整っているから、この就職も視野に入れながら、これからもしっかりと勉強していきたいと思っています。



Interview
非常勤講師・依田貴石
現代の名工 県ジュエリーマスター認定者

依田 和夫さん
Kazuo Yoda

多くを経験してこそ、進むべき道が見えてくる。

水晶をメインとした研磨の仕事をして40年以上。一人前になるまでには多くの苦労もありましたが、頭で描いたものを手の感覚で形にしていける仕事はとてもやりがいがあります。研磨は自分の感覚がすべてであり、独自の感覚から美しいものを生み出すことができます、そこにおもしろさがあると思います。

授業では、学生が自らデザインしたものを研磨してもらうこともあります。デザインとしては美しくても研磨するには難しいものがあるなど、経験して初めて分かることも多いようです。

やはり大切なのは経験すること。石の特徴や仕上がるまでの過程を知ること、より現実的なデザインが描けるようになり、さらに多方面に生かされていきます。また経験から自分の得手、不得手を知ること必要。この学校ではジュエリーのあらゆる基礎を学び、経験できるので、きつと自分の進むべき道を選び出すことができるはずですよ。

山梨県宝石研磨工業協同組合主催 「第21回 宝石研磨石創作デザインコンテスト」 入賞作品

プロと肩を並べて、研磨の技術やデザインを競うこのコンテストで、宝石美術専門学校の学生の作品が、山梨県知事賞をはじめ、多数入賞しました。このコンテストの入賞作品は、甲府市総合市民会館のロビーに展示されています。



「とろっ!」 松尾優志さん(ジュエリー学科2年)



「コースミななだ」
笑顔を届けます
秋本杏子さん
(ジュエリー学科2年)



「イカのヒレ」
内田智也さん
(ジュエリー学科2年)

山梨県中小企業団体
中央会会長賞

甲府市長賞

山梨県知事賞



Interview
百瀬貴石プランニングデザイン
百瀬 絵里奈さん
Erina Momose

自らの手でものづくりした経験が、今の私の財産です。

卒業生からのメッセージ

1200名を超える卒業生は、ジュエリー業界を支える原動力として、さまざまな分野で活躍しています。

4代続く家業の研磨業の技術を生かし、原石を研磨する段階からデザインし、ブランドとして確立していく新しい事業を展開しています。さまざまなことに挑戦できるのは、学校で基本的な知識を身に付けてきたからこそです。働き始めて12年。あらためて宝石美術専門学校で学んでよかったと感じています。

また学校時代にジュエリーづくりの根本的なおもしろさを学べたことはとてもよい経験でした。先生方からも、多くの刺激を受けました。それに自分の手でつくり、企画から加工、工賃の計算に至るまで実践的に学べ

たことが、今に生かされています。また、同じ感性を持つている学校時代の多くの友人は、今も大切な存在です。今取り組んでいる新ブランドでも、うちではやっていない貴金属加工は職人として業界で活躍している卒業生にお願いしました。

山梨からハウスブランドをつくり出すのが夢です。山梨には世界に通ずるレベルのジュエリーを生み出す歴史と土壌があり、その可能性を持っています。ぜひ学生さんにも自らの手を動かし、そこから多くを学び、一緒にこの業界を盛り上げてほしいと思います。

自分の将来、業界の未来に向け、どんな欲に学んでください。



Interview
工房楽
県ジュエリーマスター認定者
俵 俊一さん
Shunichi Tawara

卒業後、数年間企業に勤めた後に独立しました。貴金属の製品づくりや原型づくりを手掛けています。この仕事には、平面に描かれたデザインから立体的なものをつくり出していくことにおもしろさがあります。ものづくりには基本となる知識が必要であり、その知識を宝石美術専門学校で学びました。授業では貴金属の知識はもちろん、実際に自分の手で多くのものをつくり出すことができ、とても楽しく充実した日々を過ごすことができました。今、ジュエリー業界は厳しい状況にありますが、そんな時だからこそ身に付ける人のことを思いながらいいもの

を提供したい、という思いで取り組んでいます。私の今の仕事では直接身に付ける人に会う機会はありませんが、これからはもっとエンドユーザーに近いところで仕事をして、ユーザーの声を聞けるといいなと思っています。

工房を構えて20年以上。学校時代にしっかりと目的を持って学んできてよかったと、今あらためて実感しています。学校には学ぶこと、学ぶチャンスがたくさんあります。希望としっかりとした目的を持って、どんな欲に学べば、必ず将来のプラスになります。ジュエリー業界の未来のためにも、どんな欲に学んでください。

宝石美術専門学校が 甲府市中心市街地に移転します。

宝石美術専門学校は平成22年秋、甲府市中心部の紅梅地区に移転します。

現在建設している20階建ての高層ビルの7階と8階がすべて学校のスペースになります。ロビーに宝飾展示スペースを設けるなど、県民の皆さんに親しまれる学校を目指します。

中心市街地という地の利を生かし、消費者ニーズを身近に感じてもらうながら、本県ジュエリー産業を担う優秀な人材を育成していきます。



ジュエリーに親しむための宝飾展示スペース



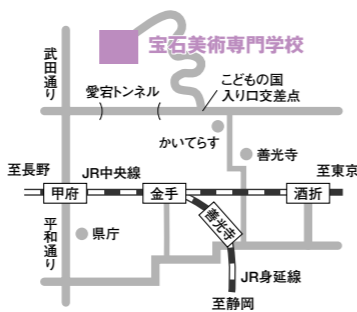
加工教室

平成21年度 オープンスクール Open School

開催日 5月16日(土)・6月14日(日)・7月25日(土)
時間 午後1時30分～4時30分
場所 県立宝石美術専門学校(甲府市東光寺町)
内容 施設見学、カリキュラム説明、就職説明、入学案内、体験講座など

【参加申込み】参加を希望される方は、前日までに宝石美術専門学校にお申し込みください。

宝石美術専門学校では、オープンスクールを行います。学校の設備を使ってオリジナルペンダントを制作する体験講座も用意しています。どなたでも参加できますので、気軽に学校を訪れてください。



問い合わせ先
山梨県立宝石美術専門学校
Tel.055-232-6671
Fax.055-233-6357
〒400-0808
山梨県甲府市東光寺町1955-1